

- ◎軽合金コンクールの首位は鳥海氏 2面
- ◎秋の褒章——永瀬勇氏が黄綬褒章 2面
- ◎労務費シミュレーションで勉強会 3面
- ◎宮地正己氏「現代の名工」に認定 3面
- ◎銑鉄鋳物生産量23カ月ぶり減少 4面

# KAWAGUCHI FOUNDRY NEWS

## 川口鋳物ニュース

編集兼発行人 総務委員会  
発行所  
川口市元郷2-1-3  
川口鋳物工業協同組合  
電話 (川口) 048(224)6200番(代表)  
FAX 048-224-1536番  
●ホームページ・メールアドレス  
http://www.kawaguchi-imo.jp  
kumiai@kawaguchi-imo.jp

### 受賞工場・製作者名

FC部門 (敬称略)			
	受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1	埼玉県知事賞	(株)マスセイ	吉田真奈美
2	埼玉県産業労働部長賞	(株)大六鋳造	知久典生
3	川口鋳物工業協同組合 理事長賞	(株)辻井製作所	白石隆也
4	川口市長賞	富和鋳造(株)	伊藤 輝
5	(一社)日本鋳造協会 会長賞	東洋鋳工(株)	秋葉結也
6	(一財)素形材センター 会長賞	(株)椿本鋳工	岩本光史
7	川口機械工業協同組合 理事長賞	前澤工業(株)	佐々木義徳
8	川口木型工業協同組合 理事長賞	不二工業(株)	青鹿 洋
9	新日鐵住金(株) 社長賞	不二工業(株)	佐々木清次

FCD部門 (敬称略)			
	受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1	埼玉県知事賞	(株)永瀬留十郎工場 櫛引工場	中村正明
2	埼玉県産業労働部長賞	東洋鋳工(株)	秋葉結也
3	川口鋳物工業協同組合 理事長賞	(株)永瀬留十郎工場	大谷 充
4	川口市長賞	(名)富岡鋳工場	富岡和洋
5	川口商工会議所会頭賞	(株)辻井製作所	高野寛之
6	(公財)川口産業振興公社 理事長賞	(株)マスセイ	渡辺敏久
7	川口鋳物技術センター 委員長賞	前澤工業(株)	新井崇史
8	埼玉鋳物技能士会 会長賞	(株)大六鋳造	亀山慎吾
9	(株)神戸製鋼所 社長賞	(株)椿本鋳工	森村功暉

# 産業界の礎として研鑽を

## 埼玉県鋳造技術コンクール 表彰式



FCの県知事賞に輝いたマスセイの吉田氏



FCDの県知事賞を獲得した永瀬留十郎工場櫛引工場の中村氏

### 県知事賞

# FC部門 マスセイ初の栄冠

# FCD(永瀬留十郎工場)櫛引工場4回目

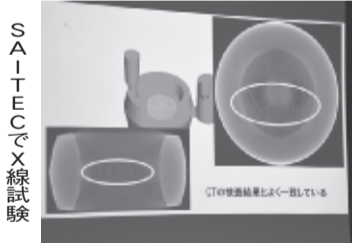
埼玉県と川口鋳物工業協同組合が主催する「第54回埼玉県鋳造技術コンクール」の表彰式と講評会が11月15日、川口市上青木の埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)で開催された。最優秀賞に当たる埼玉県知事賞を獲得したFC(ねずみ鋳鉄)部門の(株)マスセイ、FCD(球状黒鉛鋳鉄)部門の(株)永瀬留十郎工場櫛引工場をはじめ、両部門で入賞した各9事業所に表彰状の授与と感謝状・記念品の贈呈が行われた。式典は組合と川口鋳物技術センターが主催する「第7回鋳造技術コンクール(軽合金)」の表彰式と併せて開かれた。(2面に関連記事)

埼玉県鋳造技術コンクールは1965年度(昭和40年度)から半世紀を越えて続く取り組み。組合員企業が技術力で切磋琢磨する場を設けることで、地場産業の鋳物工場の振興と鋳造技術の向上を図るのが狙いだ。

川口市と(公財)川口産業振興公社、川口商工会議所、(一財)素形材センター、(一社)日本鋳造協会、川口機械工業協同組合、川口木型工業協同組合、川口鋳物技術センター、埼玉鋳物技能士会、(一財)川口工業技術センターが主催する。



第54回埼玉県第7回鋳造技術コンクール表彰式にて講評する鈴木委員長



SAITECでX線試験

「この鋳造技術コンクールは、10年くらい前に参加した」と謝辞を述べた。

続いて、FCD部門で県知事賞を獲得した永瀬留十郎工場櫛引工場の中村正明氏が「10年くらい前に参加した」と謝辞を述べた。

## 女性の製作者初の頂点

入賞者の代表挨拶では、FC部門で県知事賞に輝いたマスセイの吉田真奈美氏が「限られた時間の中で仕事と両立させながら課題に取り組みのが難しく、なかなか納得のいくものができなかったのですが、県知事賞を頂いてものすごくうれし」と、緊張しつつも喜びを表した。このコンクールでとてもいい経験と勉強ができた」と謝辞を述べた。

また、女性の製作者が県知事賞の栄冠を手にするのは、54年目を迎えたコンクールで初めて。また、マスセイの県知事賞も両部門を通じ初めて。一方、FCD部門で永瀬留十郎工場櫛引工場が頂点に立つのは2年ぶり4回目、永瀬留十郎工場グループとしては4年連続16回目。入賞者の作品については、SAITEC3階に展示している。

業会館、新日鐵住金(株)、神戸製鋼所、神鋼商事(株)の13団体・社の後援を受けて実施している。

今回はFC部門に9事業所から計10点、FCD部門に11事業所から計11点がそれぞれ出品された。三重県・桑名市・三重県鋳物工業協同組合など2007年度から実施している技術交流の一環として、FCD部門にはこれ以外に桑原鋳工(桑名市)と(株)三輪鋳造(三重県いなべ市)の2社が「オープン参加」(表彰の対象外)による出品を行った。

表彰式の前には講評会を開催。鈴木克美審査委員長(ものつくり大学名誉教授・工学博士)が鋳鉄2部門と軽合金部門に出された製品について、それぞれ講評を行った。また、昨年からは始めたSAITECの大型X線CT(コンピュータ断層撮影)装置による製品内部のX線透過試験の結果について、SAITECの担当から説明があった。

表彰式ではまず、埼玉県の石川寛実産業労働部副部長が挨拶し、参加者に敬意を表明。受賞者に「日頃から積み重ねられた研鑽の成果がいかに発揮されたもの」と祝意を示し、「さらに技術を磨いて、日本の産業界を牽引していただきたい」と呼びかけた。

続いて鋳物組合の伊藤光男理事長(伊藤鉄工(株)社長)が挨拶し、参加者を激励した。伊藤理事長は経験や勘だけでなく、CAE(コンピュータによるエンジニアリング)やSAITECのX線CT、鋳物組合のSEM(走査型電子顕微鏡装置)などの新しい機器も積極的に活用するよう要望。「皆さんは日本のものづくりの礎になる人たちなので、これからもぜひ研鑽を積んでいただきたい」とエールを送った。

さらに、来賓を代表して川口市の五島淳一経済部長が挨拶。これを受け、両部門で入賞した事業所に各賞の表彰状と記念のトロフィー・副賞、製作者に感謝状と副賞が授与された。

## 欲しいところへ欲しい量だけ

3t/hまでの連続混練と、50kgまでのバッチ混練に対応。  
主型にも、中子にも使いやすい、新しい連続式混練機、誕生。

	1.0t/h	1.5t/h	3.0t/h	5.0t/h
対象処理量	バッチ式	バッチ式	連続式	連続式
	USMX		USMX	
	バッチ式		連続式	

自硬性 連続式混練機 USMX

**新東工業株式会社**

本社 〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 Tel 052 582 9211

東京支店 〒332-0012 川口市本町四丁目1番8号 Tel 048 222 0111

New Harmony >> New Solutions™

www.sinto.co.jp